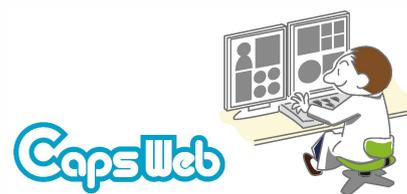


アイルみずほ台内科クリニック 様

常にそこにある存在へ 「Caps-Web」



尾泉院長（左） 当社営業担当と

施設概要

■所在地
埼玉県富士見市東みずほ台 1-3-14
高野ビルディング 103

■診療内容
内科・消化器内科・呼吸器内科・糖尿病内科・
循環器内科・アレルギー科・健診・人間ドック

アイルみずほ台内科クリニック（本文中「当院」）の尾泉 健士院長は、「地域住民の健康に対する安心を提供する」という熱意のもと、様々な医療機器を用いた的確でスピーディな判断に基づき患者ひとりひとりに寄り添った医療の提供に注力しています。

患者にとってストレスフリーな受診環境づくりを目指し、

ICT（情報通信技術）を取り入れた診療体制を整えている当院でスリーゼット（本文中「当社」）の PACS「Caps-Web」をどのように活用しているか、また当社への期待や、今後の医療 IT の展望についてお話を伺いました。

オーダーメイドの診療を実現するシステムの構築

東武東上線みずほ台駅から徒歩すぐの当院には、急性期・慢性期の疾患にかかわらず、地域住民から遠方にわたり幅広い年齢層の患者が訪れる。

開院にあたり、健診・ドックに始

まり通院治療まで、一気通貫で患者を支える理想のクリニック像を実現するための機器構成を模索していた。

最新の16列マルチスライス CTをはじめ、CR、消化器内視鏡、超音波診断装置等を導入した（写真①・②）ほか、健診・人間ドック対応の各種検査機器や、より高精度な診療を行うため遠隔画像診断によるダブルチェック体制も整えている。

また、電子カルテや予約システムなど患者とのコミュニケーションツールの整備も重視した。特に、PACS については「一人ひとりの患者に最適な診療を提供するには、小回りの

きくシステムであることが第一条件でした」（院長）

そんな中、当社 PACS の導入に至ったのは、開業医向けの実績が多いこと、また将来的にクラウドに移行する可能性を考慮した製品ラインナップや提案姿勢に魅力を感じたためだという。



◀ ①16列マルチスライス CT
放射線科医師による遠隔診断にも対応。

クリニックロゴの秘密



富士見市をかたどった地図に、当院の位置が★で示されている。

サポート体制への安心感と製品への期待

院長・スタッフともに当社の営業担当とサポートスタッフの対応には信頼をおいている。「開院から数か月経過し、初期トラブルはあったものの、いずれも迅速な対応で解決してくれました。杓子定規でない対応にも好感がもてます」(院長)

診察においては、画像拡大、色調反転、各種計測機能などPACSの基本的機能をメインに利用している。



▲ ②消化器内視鏡(左)と超音波診断装置

当日検査にも柔軟に対応している。

▶ ③PACS 活用でわかりやすい説明を

PACSの利用シーンはフィルムレスの実現や、検査画像の管理・参照・診断だけでなく、患者とのコミュニケーションにも活用することで信頼関係を築く効果もあると言える。

当社PACSビューワ(※1)は、ユーザー一人ひとりに合わせた画面レイアウトの作成により利用頻度の高い操作ボタンのみを表示することもできる。

更に、誰もが直感的に操作できるシンプルでスマートな画面操作の実現を目指すよう、院長は当社にエールを送る。

「スリーゼットなら、私たち医療従事者の視点を今以上に取り入れてくれると期待しています」(院長)

これからの医療×ITを生き抜くために

現在の当社に対する満足度は「応援の気持ちを込めて90点。スリーゼットは他社とのコラボ実績も多く、おもしろい会社。もっともっと医療現場を観察して、良い製品やサービスを生み出してほしいですね」(院長)

例えば、リモートメンテナンス保守



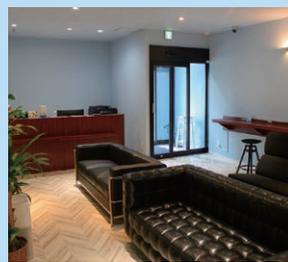
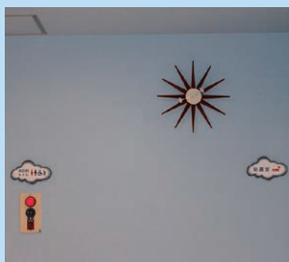
点検の全自動化など、利用者の手間を少しでも減らす工夫が期待される。

昨今、様々な分野で人工知能の実用可能性を探究しているが、医療現場も例外ではないと考える院長。「近い将来、ソフトウェアそのものに診断能力が備わったり、医療機器どうし、更にはメーカー間のシームレスな連携が当たり前の世界がやってくるでしょう。その時、他社ではできない革新的な製品を提供できるかどうかがかギになるのでは」(院長)

当院の目指す「地域に安心をもたらす存在」を支える「常にそこにある存在」として当社もまた、利用者の期待に応える使命を痛感したインタビューとなった。

当院の
コンセプト

くつろぎの空間を提供



穏やかな海に浮かぶ「島」をイメージし、患者がリラックスして診療に臨めるような細やかな気配りが随所に施されている当院。太陽や雲をモチーフにしたインテリアが気分を和ませてくれる。待合室ではミッドセンチュリー調のソ

ファやカウンターが設けられ、好奇心をくすぐる書籍が揃えられており、カフェのようにくつろげる空間となっている。診察室や検査室、更衣控室の家具や内装の一つひとつに思いやりが感じられる。

■お問い合わせ先(制作元・製品開発元)



株式会社スリーゼット

本社 東京都千代田区神田須田町1-24 アイセ神田ビル5F
Tel:03-5289-7531 E-mail:info@3zweb.co.jp

www.3zweb.co.jp

